

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	国際交流課
職	課長
氏名	藤村 一志

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
<p>多角的な交流の展開、国際社会への貢献、世界に開かれたまちづくり、草の根活動の促進、国際感覚豊かな人材の育成を推進するとともに、国際交流を促進するインフラを活用し、積極的に外国人客の誘致を図る。</p> <p>平成18年3月に策定した「石川県国際化戦略プラン」及び中間見直しにより、今後さらに重点的に行う取り組みをまとめた「石川県国際化戦略プランの今後の主な取り組み計画」の実施状況の点検等を行いつつ、4つの課題に重点的に取り組む。</p>	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
<p>①世界に開かれた多文化の共生と交流の推進</p> <p>交流人口の拡大と、県民、交流団体、自治体、外国人住民などの地域社会への積極的な参加による多文化共生・交流県を目指す。</p>					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①外国人住民登録者数	10,655 人	26 年度	10,900 人	27 年度	過去5年間で最も高い伸び率(H25～H26 年率2.3%)
①民間国際交流団体数	152 団体	26 年度	190 団体	27 年度	石川県新長期構想による
①外国人宿泊者数	293,956 人	26 年度	500,000 人	27 年度	新ほっと石川観光プラン海外誘客10倍増構想による



27年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①経済・文化・青少年・環境など、県民参加による幅広い国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・友好交流地域(中国・江蘇省、韓国・全羅北道、ロシア・イルクーツク州)との交流事業の推進 ・海外研修員、インターンの受け入れ
①国際交流を促進するインフラの活用、県内経済振興につながる積極的な海外からのビジターなどの受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語・日本文化研修センターの機能強化 ・国際交流センター、ラウンジ、サロン等の国際交流施設の利活用促進
①外国人住民も参加する「多文化共生・交流社会」づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・私費留学生の就学支援 ・多文化共生推進員を活用したネットワーク構築、地域交流会、通訳ボランティア講座の開催による多文化共生社会づくり ・留学生モニターツアーの実施
①グローバル化に対応した人材育成と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流員を活用したセミナー、国際交流イベント等による国際理解の促進 ・外国語でコミュニケーションできるボランティアや自治体職員の育成